

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2013年3月20日発行 第119号 (毎月1回発行)

- スケジュール (3/21~5/7) P3
 - 教務からのお知らせ P4~P5
 - 事務室からのお知らせ P6~P7
 - 進路支援からのお知らせ P8
 - 生徒支援からのお知らせ P9~P10
 - スクーリングについて (P9)
 - 保健室からのお知らせ (P10)
 - 「カウンセリングスペース」からのお知らせ (P10)
 - 今月の聖句 P11
- <同封物>
- 「進学教育センター」だより (桃) <全員>
 - 進路ニュース (青) <3年次>
 - 学校新聞20号<全員>

●前期講座登録は、3月19日(火)~26日(火)です。

(年次別。担任と予約した日時。土日祝は除く)

●前期第1回ホームルームは、4月17日(水)です。

(在校生対象)

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページでえつらん閲覧できます。

「教員ブログ」を始めています。本校のホームページをご覧ください。

今月のメッセージ



「春」

今年の冬が厳しかったせいもあり、ようやく訪れた春の気配に、多くの人々はホッとしているのではないのでしょうか。

熱帯地方では、雨季や乾季はあるけれど、「1年中夏」で、春がないとされる場所もありますが、日本には、幸いなことに四季があり、それぞれの季節を楽しむことができます。その中でも、やはり「春」を待ちわびる人が一番多いのではないのでしょうか。

「春」、それは、気象学では3月・4月・5月・二十四節気に基づく節切りでは立春から立夏の前日まで。天文学上は、春分から夏至まで。ここでの「春分」「夏至」は、「春分の日」「夏至の日」ではなく太陽黄経が0°、90°になる時です。

「春」は、前年の寒い冬から朝晩はまだ肌寒さはあるが、次第に日中は暖かくなる時期であり、秋と並んで一年の中では最も気候の良い穏やかな季節とも言えます。雪や氷が溶け、植物が芽を出す時期。寒さが次第に緩み、草木が芽ぐみ、花々がつぼみをつけ、満開になる。日が長くなり、地中の虫や爬虫類が動き始める。桜が散り、木々の緑が濃さを増し、夏へと至る。日本では毎年3月が年度替わりとされ、さまざまな区切りとなる。卒業式、入学・入社式、と出会いと別れの季節でもある。

「春」という言葉には「物事の始まり、新年の始まり」の意味を持たせる場合がある。西洋でもイタリア語の「プリマヴェーラ (Primavera)」やフランス語の「プランタン (Printemps)」「第一の」を意味する接頭語「プリ (pri-)」を使用しているように「第一の季節」と考えられている。

「春」が到来すると、冬の寒さと長い夜による過酷で抑圧された生活から解放されることから、春の語は「雪どけ」などと同様に「抑圧からの解放、自由の空気の到来」の比喩として使用されているあなたにとって、今年はどうな「春」でしょうか。

(の春、プラハの春、アラブの春)。



本校の卒業要件

- ① 高校に3年以上在学すること。
- ② 74単位以上修得すること。
- ③ 必修科目は履修認定を得ること。
- ④ 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- ⑤ 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2012年度版 学務の手引き』より抜粋)



大阪YMCA 年間聖句

あたら「新しいぶどう酒は、
あたら新しい皮袋に入れねばならない。」

ルカによる福音書 5章 38節 (新共同訳)

Raising strong children and building a loving community
OSAKAYMCA  Since 1882

2012年6月～2013年6月

スケジュール(3/21~5/7)

日		曜		行事予定	
				3 月	
3/21	木	特別活動：13年度前期講座登録（現2・3年次の予約者）			
3/22	金	特別活動：13年度前期講座登録（現2・3年次の予約者）			
3/23	土				
3/24	日				
3/25	月	特別活動：13年度前期講座登録（現1年次の予約者）			
3/26	火	特別活動：13年度前期講座登録（現1年次の予約者）			
3/27	水				
3/28	木				
3/29	金				
3/30	土				
3/31	日				
				4 月	
4/1	月				
2	火				
3	水				
4	木				
5	金				
6	土				
7	日				
8	月				
9	火				
10	水				
11	木				
12	金				
13	土				
14	日				
15	月				
16	火				
17	水	特別活動：在校生ホームルーム			
18	木				
19	金	〔学校通信〕発送（予定）			
20	土				
21	日				
22	月	特別活動：13年度生ホームルーム			
23	火	13年度前期レポート集・個人時間割ほか発送（予定）			
24	水				
25	木				
26	金	前期学費納入案内発送（予定）			
27	土				
28	日				
29	月	（昭和の日）			
30	火				
				5 月	
5/1	水				
5/2	木				
5/3	金	（憲法記念日）			
5/4	土	（みどりの日）			
5/5	日	（こどもの日）			
5/6	月	（振替休日）			
5/7	火	13年度前期スクーリング開始			

学校行事のない日は
特別な用事のない限り
来校はできません。

4/27~5/6は
ゴールデンウィーク
学校休業日です。

教務からのお知らせ

【前期の講座登録】 3月19日（火）～26日（火）（担任と予約した日時。土日祝は除く）

■2013年度前期の講座登録は、3月15日（金）のホームルームで予約した、個人別の日時に、生徒ご本人と担任が相談しながら行います。

■講座登録では、事前に「開講講座の概要」で講座内容をしっかり確認し、開講される講座の中から自分が学習しようと思う講座を選び、登録します。

■3月15日（金）のホームルームを欠席した人は、必ず担任に連絡して面談日時を決めてください。

また、予定日時に来れなかった人も、必ず連絡して予約し直してください。

どうしても本人が不都合な事情があれば、登録は保護者が代行できます。

■日程は、現3年次生と現2年次生は、3月19日（火）・21日（木）・22日（金）午後、

現1年次生は、3月25日（月）・26日（火）です。

ただし、2013年度の施設設備費が3月15日（金）までに未納入の人は、この期間内に講座登録はできません。

■3月18日（月）以降に施設設備費を納入された場合は、必ず担任に連絡の上、講座登録の日程を決めてください。

■講座登録が遅れると、希望する講座の登録ができなくなったり、受講開始が遅れる場合もあります。講座登録をしないと、前期の授業を受けることはできません。

また、本校の在籍期間として認められませんのでご注意ください。

（本校では在籍期間認定のために、各期に最低2単位分の講座登録が必要です。）

講座登録に際しては、

①必修科目を優先させる

②各自の関心・実力・進路など十分に考慮する

③各期登録単位数の上限は20単位だが、標準で7講座14単位程度とする

④卒業予定者は、修得できない講座がある場合を考慮し、登録単位数を少し多めにする

（すでに修得した単位と合わせて、総計が9月卒業予定者は74単位、

3月卒業予定者は54単位^{（注）}を、それぞれ上まわるように登録する）

などの点に注意してください。

^{（注）} 大学等の受験のために、本校の「推薦書」を発行するにあたっての条件になります。

【13年度の「誓約書」提出のお願い】

■13年度の「誓約書」を、保護者宛に3月15日（金）にお送りしています。

ご確認の上、署名・捺印をいただき、前期講座登録時に、担任までご提出ください。

■講座登録時に提出されなかった場合は、3月29日（金）までに、学校宛郵送してください。

【在校生の第1回ホームルーム】 4月17日（水）

■在校生のホームルームを4月17日（水）に行います。

新年度を迎え、ホームルームクラスが変わります。

実施教室も当日掲示します。（特別活動1時間）

時 限	年次
2 限目（10：30～11：20）	新2年次生（現1A 1B 1C 1M 1N）
3 限目（11：30～12：20）	新3年次生（現2A 2B 2C 2D 2E 2F 2L・2N） および卒業しなかった現3年次生

（注）本校は学年制でないので、3年次になっても、そのまま来年3月に卒業できるわけではありません。単位数などの卒業要件を満たす必要があります。

【前期レポート集・時間割・教科書の発送】

■登録講座にもとづき、皆さんの届け出住所あてにレポート集と個人別時間割、および教科書が送られます。

○レポート集と個人時間割は、4月23日（火）頃に本校から発送する予定です。

○教科書は同じ頃、^{きょうぶんどう}教文堂という書店から送られますが、入荷の都合や年次順に発送作業をするなどの理由で、正確な時期は予告できません。

おそくとも4月末までには配達される見込みです。

※レポートや教科書が届かない場合も、スクーリングには出席してください。

【前期のスクーリング開始】 5月7日（火）より開始

■スクーリングは、講座登録で決まった各自の時間割にもとづいて、5月7日（火）より始まります。

4/23（火）頃送付する「個人時間割」で確認の上、各自が登録した講座の最初の曜日・時限から出席してください。

【芸術科・家庭科の作品持ち帰り】

■美術・書道・家庭科などで作成した作品は、講座登録やホームルームで来校した際に持ち帰ってください。引き取りのない場合、4月末をもって処分しますので、ご了承ください。

事務室からのお知らせ

【2013 年度生徒証明書について】

- 「2013 年度生徒証明書」は、2013 年度前期講座登録時に担任よりお渡ししています。

写真の提出がまだの生徒は、写真提出用紙（送付済み）に注意事項を確認のうえ写真（タテ 3.0cm ×ヨコ 2.4cm・1 枚）を貼り付け、至急学校事務室へ提出してください。

- 生徒証明書の発行は、写真の提出から 3 日後になります。
- 現在使用中の「2012 年度生徒証明書」は有効期限が 2013 年 3 月 31 日となっていますので速やかに手続きをしてください。

【住所等変更手続きについて】

- 現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。
特に生徒証明書の切り替えの時期ですので、変更事項が決まっている場合は早めに届け出るようにしてください。
- 通学経路が変わる場合は、「通学割引証申請カード」を変更しますのであわせて提出ください。（即日発行はできません。）
- 届出用紙は事務室にある他、『学務の手引き』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【2013 年度前期学費の納入について】

- 2013 年度前期学費納入案内については、4 月下旬に学校から発送する予定です。

納入期限日は、5 月 15 日（水）の予定です。

学費の納入期限の延期（延納）を希望する場合、または分割納入を希望する場合の手続き書類の提出期限日も同様に 5 月 15 日（水）です。

詳細は送付する納入案内に載せていますが、前もってお知らせいたしますのでご予定ください。

【ゴールデンウィーク学校休業日について】

- ゴールデンウィーク学校休業日（4/27～5/6）は、事務取扱いがありません。

遠隔地への旅行などに必要な学割申請については、4/26（金）までに申請のあった分については 4/27（土）に発行できます。即日発行はできませんので注意してください。

【高等学校等就学支援金の現状について（対象者のみ）】

■就学支援金の現時点での状況や今後の手続きについては、すでに対象者には「国の私立高等学校等就学支援金についてのお知らせ」を保護者の方に送っていますので、そちらでご確認ください。

■2013年度前期学費納入案内については、前期講座登録後に認定された「支援金」を差し引いた金額で4月下旬頃にご案内いたします。

昨年度加算申請が認定されている場合は、現在第1期分（6月まで分）の加算が認定されています。第2期以降分（7月以降分）の加算申請につきましては、再度平成25年度の所得の証明書等確認書類の提出が必要となります。現在の加算対象の方には5月に提出のご案内をいたします。提出期限は6月末を予定しています。したがって、前期学費のご案内は7月上旬頃になりますのでご確認ください。

■新たに第2期以降分（7月以降分）の加算申請を予定されている場合は、前述のとおり6月中に手続きが必要です。5月以降に申請書類をお渡しいたしますので事務室へお申し出ください。

■前期講座登録を行わない場合は、就学支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいますので「休学」の手続きとともに支援金の「停止」手続きを行ってください。

進路支援からのお知らせ

【進路の方向を定めよう】

- 1、2年次生の皆さんは、新年度にむけてしっかり準備を進めてください。特に来年度後期に卒業を予定している人は、卒業後の進路について本格的に考える時期にさしかかります。進学（大学・短大・専門学校）か就職か、また専攻分野や職種について、遅くとも7月頃までには方向を決めましょう。わからないことがあれば、早めに担任に問い合わせてください。
- 先月号でもお知らせしましたように、講座登録の際に進路希望調査を行います。簡単なアンケートですので、答えられるようにしておいてください。

【講座登録時のアドバイス】

- 進路のことや入試科目のことをよく考え、必要な科目（講座）を選択するようにしてください。
- 推薦入試を受けるには、各大学・短大・専門学校が示す成績の基準を上回るとともに、本校の推薦基準を満たす必要があります。本校では、**公募制推薦については卒業予定年度の前期終了時点で54単位（高認などを含む）以上、指定校推薦については60単位（高認などを含む）以上修得していることが必要です。**計画的に単位修得を進めてください。なお、指定校推薦の場合、『校内生活上の決まり』の『注意』を2回以上受けていないことも条件となります。

【3階『進路コーナー』を活用しよう】

- 進路（進学・就職）に関する情報は3階『進路コーナー』に掲示しています。また『進路コーナー』に置いている情報誌や案内書、募集要項などは自由に持ち帰ることができますので、活用してください。なお、進路に関する情報は1階職員室カウンターでも見ることができます。

【『オープンキャンパス』に参加しよう】

- 大学・短大・専門学校への進学希望者は、『オープンキャンパス（学校見学会）』に積極的に参加し、自分の目で各学校の特色を確認しましょう。3月からオープンキャンパスが始まっている学校も多数あります。日程などの情報は3階『進路コーナー』にも掲示しています。
- 『オープンキャンパス』に参加すると**特別活動2時間（上限は10時間）が認定されます。**1階職員室カウンターで「参加報告書」を受け取り、必要事項を記入して提出してください。その際、当日配布されたプリントや担当者の名刺など、参加の証明になるものを貼ってください。

【進路相談について】

- 本校では、進路相談につきましては、年間を通じてホームルーム担任が随時行っています。ご希望の方は面談日時をホームルーム担任と調整してください。

【『保護者とともに進路を考える会』ご報告】

- 2月23日（土）に1、2年次生の保護者の皆さまを対象に『保護者とともに進路を考える会』を実施しました。多くの方に参加を頂き、無事終わることができましたことをご報告いたします。
- 当日欠席された方には、資料『それぞれの未来へ』を3月15日（金）に発送しましたので、今後の参考にしてください。**ご質問等がございましたら、進路支援部までお問い合わせください。

生徒支援からのお知らせ

【学校生活を快適に過ごすために】

後期の単位認定テスト終了から約1ヵ月がたち、4月より新しい年度が始まります。新しい季節の始まりは、気持ちを切り替えたり、気持ち新たに何かを始めたりするよい機会ですので、みなさんもいろんなことにチャレンジしてほしいと思います。

さて、学校周辺は地域の方の生活の場です。ゴミのポイ捨てや戸口での談話などは迷惑になります。今後も清潔に保っていくように心がけてください。

今後、ホームルームや前期の講座登録などのために来校する機会が増えると思いますが、引き続き楽しい学校生活が送れるようにしてください。

4月に郵送する『2013年度学務の手引き』の「学校生活上の決まり」記載内容を含め、以下のような行為は絶対にしないでください（スクーリングがない期間中も、スクーリング期間中と同じです）。

- 1) 学校内（教室・廊下・トイレなど）と学校周辺での喫煙
- 2) 自動車・バイク・原付での通学
- 3) 他の生徒を中傷する行為・暴力行為
- 4) 学校の施設・設備をこわすこと
- 5) ごみをところかまわず捨てること

【『2013年度学務の手引き』について】

■『学務の手引き』は、毎年、変更がありますので、お手元に届いたら必ずお読みください。

■以前、様々なルール違反により注意・処分を受けた人は、違反行為を繰り返すことによって、より重い処分を受けることとなります。今一度自分を見つめなおし、気持ちを引き締めましょう。
年度が変わっても、注意・処分を受けた回数が0に戻ることはありません。

ちょっとした心がけで、ルール違反は防げるものです。

健全な学校生活を送れるよう、生徒のみなさん一人一人の心がけを期待しています。

◆保健室からのお知らせ

【*2013年度前期スクーリング開始までの健康管理について】

○温度差に注意！

朝夕と昼間の気温差、室外と室内の温度や湿度の差で、体調を崩しやすい時期です。調節しやすい服を選びましょう。

○生活リズムを整える

食事や睡眠が十分ではないと栄養が補給できず、疲労も回復されないので、免疫力が低下します。適度に水分も補給しましょう。

○不調を感じたら医療機関へ

早期に対応することで重症化せず、早く治りやすくなります。自己判断はなるべくしない方が良いでしょう。スクーリングの開始前に、健康面で気になることがある場合は、担任又は保健室へ連絡してください。

【*麻しん(はしか)の予防接種を受けましょう！】

- ・対象者：1994年4月2日～1995年4月1日生まれ（高校3年生に相当する年齢）の人。
 - ・期 間：2013年3月31日まで。
 - ・費 用：無料または、一部負担（対象者以外の接種には、1～2万円程度）で受けられます。
- ※予防接種の受け方、費用等については、お住まいの市区町村にお尋ね下さい。

◆カウンセリングスペースからのお知らせ

《カウンセリング》

※2012年度後期の開室は終了しました。

※2013年度の開室については、4月以降の学校通信で連絡します。



今月の聖句



「^こ子たちよ、^{ことば}言葉や^{くちさき}口先だけではなく^{おこな}行いをもって
^{せいじつ}誠実に^{あい}愛し^あ合おう。」

(ヨハネの手紙 3章18節)

「互いに愛し合いなさい」は、主イエスの命令です。パウロは「互いに愛し合うことのほかに、誰に対しても借りがあってはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです」(ローマ 13:8)と語っています。わたしたちは「互いに愛し合う」という借りを負っているのです。しかもこの借りは、決して返しきることができません。永遠の借りであります。お金や物ですと借りることもでき、返すことが当然であり、返せるのです。しかし愛だけは返しきれものではありません。わたしたちは、「恩返し」を美談と心得ているのです。恩返しのできた、すっきりしたなどと言います。しかし「互いに愛し合う」という聖書の言葉は恩返しという意味をこめているのでしょうか。聖書が言う「互いに愛し合う」という意味はわかっていないと思うのです。好きなもの、利益になるもの、価値のあるもの、自分を愛してくれる者を愛するということを意味するものではありません。イエスさまの命令は愛しなさいということですが、それはアガペーと言われる「愛」です。相手が敵であっても価値がなくとも、利益にならない者であっても愛し合う「愛」です。そのようなアガペーの愛はどこから引き起こされるのでしょうか。罪にまみれている私のような者をも赦すために十字架について死んで下さったイエスさまの犠牲愛をほかにしてはない「愛」です。返済など到底できない借りを無償で免除する愛です。ここにキリストから借りている負債感があるということがはっきりしないと「互いに愛し合う」ということが始まりません。イエスさまのお蔭で生きているという気づきがアガペーとなり、「愛し合う」ことへと向かわせます。

(日本基督教団 中谷 哲造牧師より)

C A R I N G
R E S P E C T **Y M** **H O N E S T Y**
C A
R E S P O N S I B I L I T Y